

# 第18回コバトンボルダーカップ(第38回県民総合スポーツ大会)競技案内

日時:2025年4月12日(土) ・ 会場:ロッククラフト川越, 埼玉県

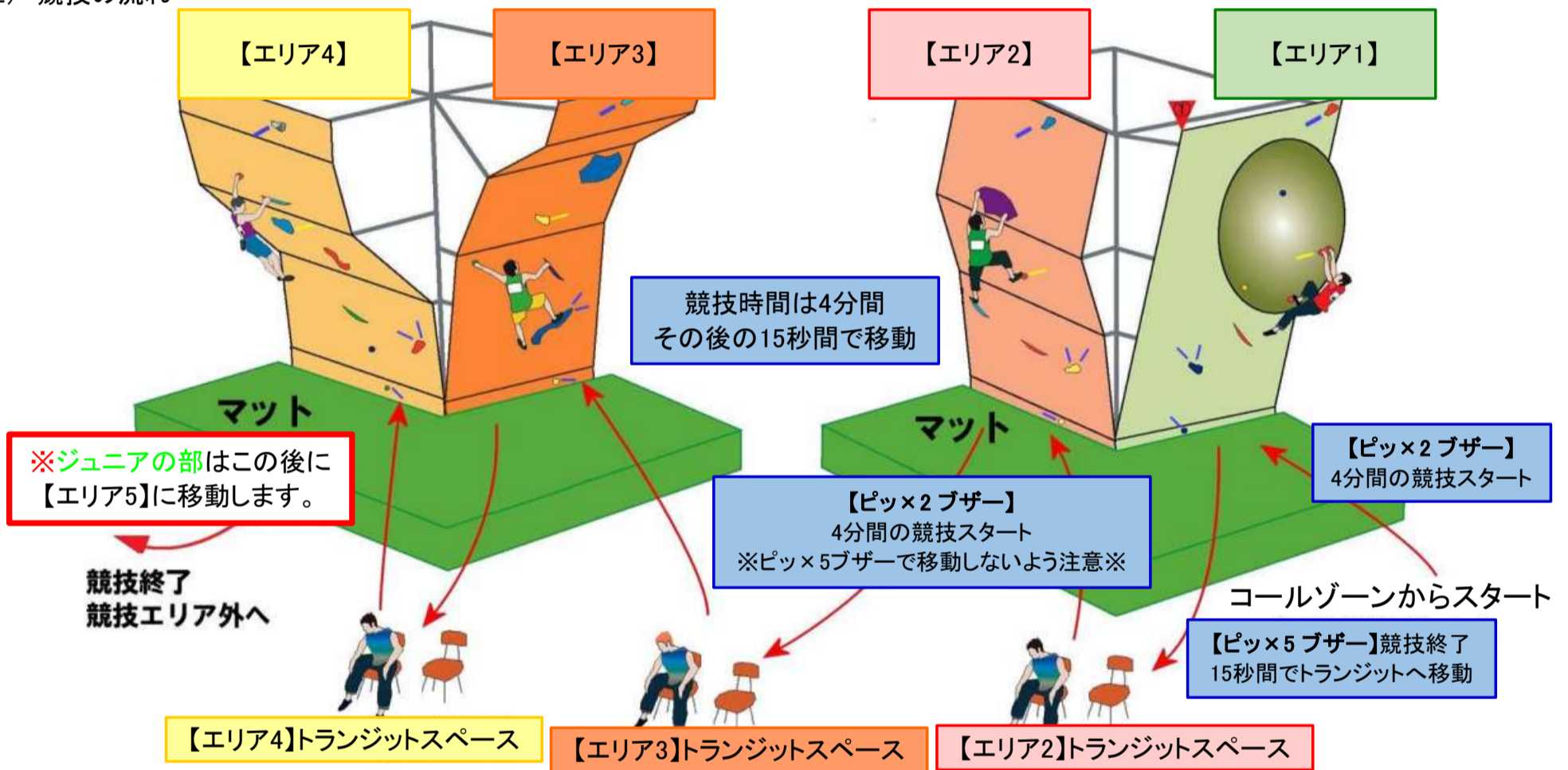
## ■競技方式

- 1) **エキスパートの部** : ○予選 ベルトコンベア方式 / ○決勝 IFSCに準ずる方式 の2ステージにて順位を決定する。
- 予選 ・ ベルトコンベア方式 【 4エリア / 1エリア1課題 / 合計4課題 / 競技時間4分間+移動時間15秒 】
  - 決勝 ・ IFSCに準ずる方式 【 3エリア / 1エリア1課題 / 合計3課題 / 競技時間最大4分間 】
- 2) **ジュニアの部** : ○ベルトコンベア方式 の1ステージにて順位を決定する。 ※予選・決勝方式ではない。
- ベルトコンベア方式 【 5エリア / 1エリア2課題 / 合計10課題 / 競技時間4分間+移動時間15秒 】

## ■エキスパートの部 予選 & ジュニアの部

- 1) **ボルダー・ベルトコンベア方式** : エキスパートの部予選とジュニアの部ではエリア数・課題数などが異なります(上記参照)。

### 2) 競技の流れ



- ①コールゾーンで自分の順番まで待機します。チョークやドリンクなども持ってきてもOKです(エリア移動時も管理をしてください)。
- ②【ピッ×5 ブザー】で出発準備をし、15秒後の【ピッ×2 ブザー】で競技開始。【エリア1】に移動しジャッジにスコアカードを渡します。
- ③競技該当課題はスラッシュテープ(棒テープ)で表示されています。完登するまで何回でもトライできます。

※エキスパートの部予選は1エリア1課題 ・ ジュニアの部は1エリア2課題を番号順にトライします(詳細は下の例↓を参照)。

(例)エリア1にはNo.1とNo.2があり、最初はNo.1をトライします(最初からNo.2はトライできません)。No.1完登後にNo.2をトライできます。

- ④【ピッ×5 ブザー】が鳴ったら競技終了です。トライ中の場合でもすぐに壁から降ります。時間外は成績には反映されません。

- ⑤ジャッジから自分の成績確認とスコアカードを受取り、【エリア2】のトランジットスペースに移動します。

- ⑥【ピッ×5 ブザー】で出発準備をし、15秒後の【短いブザー】で競技開始。【エリア2】に移動しジャッジにスコアカードを渡します。

※【ピッ×5 ブザー】では移動しない(振り向かない)ようにご注意ください。 ②～⑥を競技エリア分だけ繰り返し終了です。

- ⑦競技が終了したらスコアカードを担当スタッフにお渡しください。成績は各カテゴリー終了後、10分程度で発表予定です。

- 3) 成績 : 以下の基準に基づいて1ボルダー(1課題)ごとにポイントを算出し、その合計ポイントが多い選手ほど上位になります。

- ① ゾーン(Z)のみを保持した場合:10ポイント ・ ② 完登した場合(ゾーン保持の有無は問わない):25ポイント

- ③ ①もしくは②を獲得するまでに要したアテンプト数(基本的にはフォール数)に0.1を乗じた数値を減点する

また、ジュニアの部のみ合計ポイントが同点の場合には完登数が多い選手の方が上位となります。

## ■エキスパートの部 決勝

- 1) エキスパートの部予選→決勝進出定員 : 男子・女子別に【**成年と少年をあわせた成績より上位5名**】が決勝に進出する。
- 2) IFSCに準ずる方式 (1課題を1選手ずつ順番にトライする方式) 【3エリア / 1エリア1課題 / 合計3課題 / 競技時間最大4分間】  
※詳細なルールは競技前にご案内をいたします。
- 3) 成績 : 予選時と同様に1ボルダー(1課題)ごとにポイントを算出し、その合計ポイントが多い選手ほど上位になります。  
また、合計ポイントが同点の場合には予選成績のカウントバックを用います。

## ■表彰

- 1) コバトンボルダーカップ としての表彰
  - ①エキスパートの部の成年・少年の男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
  - ②エキスパートの部成年・少年総合の男女別の優勝者にはトロフィー(レプリカ)を授与する。
  - ③ジュニアの部ユースB・C・Dの男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
  - ④上記①・②それぞれのカテゴリーで1位の選手には副賞を授与する。
- 2) 県民総合スポーツ大会 としての表彰 (対象 : お申込時の住所が「埼玉県」の選手)
  - ①エキスパートの部の成年・少年の男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
  - ②ジュニアの部ユースB・C・Dの男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。※県民スポーツ大会の賞状が新年度になったばかりで、SMSCAIに届いていないため、5月以降に配送する予定です。
- 3) 表彰式 : エキスパートの部とジュニアの部をあわせた表彰式はございませんが、カテゴリーごとに表彰をする予定です。
  - ①エキスパートの部は決勝終了後に実施します。ただし、予選が終了の段階で順位が決定する場合もございます。
  - ②ジュニアの部は各カテゴリー終了後に実施します。該当者にはお待ち頂くようお願いいたします。

## ■課題の表示方法(テープ表示)について

- 1) **競技該当課題はスラッシュテープ(棒テープ)で表示**しています。  
右写真に例を示します(赤と緑のスラッシュテープで表示)。
- 2) **ジュニアの部**では1エリアで2課題をトライします。  
そのため、**スラッシュテープも異なる2色**で表示しています。  
また、トライをする課題は決められており、**番号順にトライ**をします。  
例)最初はNo.1のみをトライをし、完登後はNo.2をトライできます。
- 3) スタートは**4点スタート**(右手・左手・右足・左足を全てセットし安定したスターティング・ポジションからスタートする)です。**スタートは【S数字】で表示**しており**4点のどこかを数字ぶんセット**します。
- 4) ゾーン【Z】は順位をわけけるための明確なポイントで各課題に1ヶ所です。
- 5) 木製ハリボテやボリュームホールド(あわせてハリボテ)も利用可能な場合にはテープ表示をしています。また、**指定ホールドが付いている場合にはハリボテ自身にテープ表示がなくとも利用可能**です。  
逆に、上記のどちらでもないハリボテは利用できません。
- 6) トップ【T】は終了点です。エリアを指定する場合があります。



※コールゾーンにて【テープ表示例】を作成しているので、選手の皆さんはアップの際にご確認をお願いします。

また、4点スタートやゾーンについてのご質問がございましたら、コールゾーンのスタッフにお問い合わせください。


## ■ 競技の注意点

### 1) オブザベ中

- ① **スタート以外のホールド(ハリボテを含む)には触らないでください。**

テープの付いていないホールドにも触れないでください。

- ② クリーニング(ブラッシング)は選手自身でもらっても構いませんが、**ホールドにチョークは付けない**でください。



赤テープ課題をトライする場合、この赤いホールドも使えるし、青いハリボテも使える。

### 2) スタート(4点スタートのスターティング・ポジションに入るとき)

- ① **スタート以外のホールド(ハリボテを含む)を使用しない**でください。例)遠いから他のホールドを使うなどはダメ。  
② **身体がマットから離れ4点スタートの前に落ちた場合にも1フォール**です。スタートに入る際にも1ムーブあるという考えです。

### 3) アテンプト(アテンプトが追加する事象)

- ① アテンプトを開始したとき(上記スタートのタイミング)。  
② アテンプトを開始する前に、**スターティング・ホールドおよびブロッカー・ホールド以外のホールドやボテに触れたとき**。  
よくある事象としては、フォールした際に取り損ねたホールドを確認するように触る場合が多いので注意してください。  
③ ②と同じく、スターティング・ホールドおよびブロッカー・ホールド以外に、チョークまたはティク・マークを追加したとき。

### 4) トライ中

- ① **同じ色のテープで示されたホールドやハリボテのみ**を使用してください。  
また、壁の形状は限定が無い限り利用可能です。  
② 壁やハリボテのボルト穴は使用禁止です。  
③ **身体がマットに触れた場合は競技を中止**です。また、ジャッジ判断で中止をする場合もあります。その場合にはジャッジの指示に従ってください。  
④ **デマケーション(黒テープ)の外側は使用禁止**です。右写真に例を示します。  
また、壁の上部(リップ)・白い塗装の柱・張り・管なども使用禁止です。



### 5) ゾーン

- ①【Z】で表示されており、**保持する(片手でOK)ことで10ポイントが加算**されます。**タッチなどでは無効**です。  
②【Z】を使用せずに登ることもできます。その際に【Z】ラインより上まで登っても10ポイントは加算されません。

つまり【Z】を使用せず、完登もしなければ、ポイントは加算されることはなく、フォールに際する0.1ポイントの減点が発生します。

### 6) 完登・トップ

- ①【T】で表示されており、両手で保持・コントロールした際にジャッジがそれを認め『OK』とコールします。これで完登になります。

**※選手のみなさんは『OK』コールを聞くまで降りたり、他のホールドを使わないようにしてください。**

- ②完登することで25ポイントが加算されます。

### 7) 抗議・意見

各エリアの成績確認で問題があるようであれば、その際に担当ジャッジに抗議・意見を伝えてください。

作成:2024年4月4日

改定:2025年3月29日